

曾祖父が始めた代書人が、百一十五年の歳月を経て、百八十名の総合コンサルタント専門家集団TOMAグループを誕生させた

スーパー企業最前線 Vol.138

Toma TOMAコンサルタンツグループ株式会社

総合コンサルティングファームとして、最古の歴史を持つであろうTOMAコンサルタンツグループ株式会社は、明治二十二年にその産声を上げている。曾祖父から祖父、父と事業承継が行われ、現在は藤間秋男が代表取締役社長として、グループ各社の采配を振るう。税理士、公認会計士、社会保険労務士など、ともすれば資格を取得した個人商店の趣が強い業種だが、藤間はあくまで法人化を推し進める。法人の永続性に期待するという藤間社長に、その狙いについて伺った。



TOMAコンサルタンツグループ株式会社
代表取締役社長
藤間 秋男
Akio Toma
1952年生まれ、慶應義塾大学卒業後、1982年に藤間公認会計士税理士中小企業診断士事務所を設立。2012年に分社化し、TOMA税理士法人、TOMA社会保険労務士法人を、2013年にTOMA監査法人、TOMA行政書士法人を設立。

時は明治、文字の書けない人が多かった時代、登記書類を代書する業を創業した曾祖父が、TOMAコンサルタンツグループのルーツである。

東京駅は大正三年に建造されたが、明治時代には駅は無く、裁判所と刑務所しかなかったようだ。後に皇居の前に刑務所があつては、と言うことで虎ノ門の辺りに引越すことに。その地に藤間秋男の曾祖父は文字の書けない人のために代書人を開業した。

「大半は不動産売買契約に関する登記書類であつたようですが、重宝がられたようです。それがTOMAコンサルタンツグループ誕生の原点になりました。いまから百一十五年前のことです。大正時代になり二代目となった祖父は、登記所に書類を上げると二時間ほどで出来上がる。そこに目をつけ、事務所の二階に登記茶屋を始めた。書類が出来る迄の待ち時間に酒やつまみを食していただく商売も始めた。出し物は全て出前で賄つたと聞きましたが、ともかくアイディアマンであつたようです。書類が出来上がると登記所の係官から『藤間さん、出来たよ』と声がかかり、それを受け取りに出掛ける。その茶屋で契約成立を祝つて『よーぽん』と手打ちをしたそうです。また、祖父は曾祖父と違いあまり字が奇麗ではなかつた。その為に生まれたばかりのタイプライターを他に先駆けて導入している。手書きが主流であつた時代にタイプ仕上げですから、これが功を奏して東京駅周辺の三菱系、銀行筋など大手企業から、次々に仕事を依頼されたそうです」

アイディアマン祖父の一声で、企業経営に關する全方位コンサル企業を目指す。

祖父から「うちには司法書士じゃないのか、計理士とか弁護士みたいな人材はないのか」と詰問された父は、当時大学の商学部在籍していた息子に「お前は幹部クラスの育成も欠かせません。こうした事柄はセミナー等の場で皆さんにも申し上げております。弊社にはお客様から叱られたり、失敗をしてみました、逆にコンサル活動を通じてお客様から喜ばれ、感謝されたような場合、自己申告する制度があります。内容を記す用紙はカミナリカード(お叱りを受けたケース)とニコカード(感謝された等)の二種類です。先日もお客様から『御社の女性コンサルタントのご指導を受けたおかげで、頼りにしていた銀行からの融資が無事になりました』と感謝のお手紙を頂戴しました。これは朝礼の場で全員に披露いたしました。こうした行動も社員教育の一環だろうと思ひ、日々継続しております」

総合コンサルティングファームを目指す上で、弁護士法人の開設は急務

有資格者が集うコンサルタンツグループとして、TOMA弁護士法人を開設するのが夢です。

「お客様が事業を推進させていく過程で登場するコンサル案件を、ワンストップで受付、対応する企業集団、TOMAコンサルタンツグループの構築を目指す上で、弁護士事務所は欠く事の出来ない専門部隊となりませう。将来的にはTOMA弁護士法人を設立したいと考えています。あくまで法人化にこだわるのは、継続性のある企業体作りを目指しているからです。最後に、これは私自身に課しているのですが、毎日必ず社員に「明るく、楽しく、元気に、前向き、情熱的で、ありがとう、感謝します通信」というメールを送っています。書物や人様からおうかがいしたお話の中に、素敵な言葉を見つけた時は、その話を盛り込んだメッセージを送り続けております」



上段写真右／本社は東京駅八重洲北口から徒歩2分。TOMA税理士法人、TOMA社会保険労務士法人、TOMA監査法人、TOMA行政書士法人、藤間司法書士法人を母体としてワンストップサービスを提供

上段写真左／「明るく楽しく元気に前向き」の経営理念のもと、総勢180名の専門家がお客様を元気にし、経営の課題解決にあたっている。

下段写真／TOMAグループでは経営に役立つセミナーを年間200回以上、年に2回は著名講師を招いて「TOMA特別講演会」を主催。老舗社長を登壇者として招いた「100年企業サミット」も継続開催している



「この祖父の言辭が重くのしかかり、TOMAグループとしては司法書士、会計士ばかりではなく、資格者の集うコンサルタンツグループを築き上げるべく、税理士、公認会計士、社会保険労務士、行政書士を個人としてではなく法人として作り上げました。現在は経営の再建、再生に対応するグループ、事業承継、相続の相談を受ける部隊、不動産コンサル、人事専門のコンサル、M&Aの相談、対応部隊、特殊な部門としては医療コンサル、派遣ビジネス、ITコンサルまで、社員総数百八十名の内八十名近くは資格取得者です。その中には国税庁OB、銀行OBなどが、その専門知識を生かしたコンサル活動を行っております」

会計士をやれ』と命じたようで、秋男社長はその道に進んだ。

ワンストップコンサルの可能な専門家集団を、創り上げた

TOMAグループとしては、より多くの百年企業創りを目指し、自らのグループは千年続くコンサルティンングファーム構築に挑む。

「本社事務所内で各種セミナーを開催させていただいております。弊社は所謂セカンドオピニオンのコンサル企業でもよい、と考えております。これまで近場の会計士事務所や税理士さんに御願ひしていた会社や事務所が、事業にかかわるその他の相談を依頼したい場合、弊社にお声をかけていただければ、あらゆる分野の専門家を擁したコンサル会社として、対応することが出来る、顧客にとつてのワンストップコンサルティンングを可能にする存在として活用していただける、と自負しております。私どもは百年、それ以上継続できる企業体の構築を呼びかけています。その活動の一環として、創業百年を超える企業を経営者をお招きして『百年企業サミット』をこれまで四回開催してきました。同時に雑誌社に頼まれ、全国で頑張っている百年企業を訪ね歩き、その企業のあり方、継続する秘密・秘訣を探り、紙面上で紹介する活動もさせていただいております。朝礼などでは常日頃から、弊社も千年続くコンサルティンングファーム創りを目指そうと確認し合っております」

何をおいても人材育成が企業経営者の命題である。そこから百年企業が生まれる

「明るく、楽しく、元気に、前向き」を経営理念に据え、自身の会社も顧客企業の見本となるような経営に努める。「企業は創業者から二代目、三代目とバトンタッチを続けていくと、時として創業者のカリスマ性が薄れてきて、元気がなくなっていくような企業も多い。その解決策はやはり人を育てる努力を怠つてはならないということ。人材はトップばかりではなく、そのトップを支える

◎TOMAコンサルタンツグループ株式会社
本社:東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー本館3階
従業員数:180名 内税理士30名、国税OB税理士7名、税理士試験科目合格者32名、公認会計士7名、公認会計士試験合格者2名、社会保険労務士10名、中小企業診断士4名、司法書士3名、行政書士6名の有資格者も。
事業内容:企業相談の総合コンサルタント活動。

企画・監修／アップルタウン編集部:元谷 拓